

令和 3 年度

事務事業評価表 ( 令和 2 年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 8 月 20 日

Table with 4 main columns: 事務事業名 (下水道事業会計管理事務), 事業区分 (新規/継続, 新規), 担当 (事務事業No. 050503001056), and 所属課 (下水道課). It includes sub-headers for 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 手段名) and 財務会計上の位置付け (事業期間: 単年度繰返し).

Section (1) 事務事業の概要. Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (下水道事業会計における正確かつ円滑な資金の出納管理) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (毎日の収入・支出による伝票の入力・発行及び支払処理).

Section (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Large table with 7 columns: ①手段 (下水道事業会計における正確かつ円滑な資金の出納管理), ④活動指標 (監査検収回数, 事務担当者の人数), ⑤対象指標 (収益的収入, 収益的支出), ⑥成果指標 (監査における指摘回数), and 01-05年度 (実績, 計画, 目標).

Section (3) 投入量 (事業費) の推移. Table with 7 columns: 財源内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源), 事業費計(A), 正規職員従事人数, 01-03年度 (実績, 計画), and 期間限定総投入量.

Table for 02年度事業費実績 (千円) and 03年度事業費予算 (千円). Includes rows for 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), and 正規職員従事人数, ending with a 合計 row.

事務事業名	下水道事業会計管理事務	事務事業No.	50503001056	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 令和2年度より公営企業になり下水道事業会計が開始された。 下水道事業会計は、3月31日付で決算するため、予算との関連で複雑であったためシステムを導入した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 複式簿記の導入により、現金の動きが分かりづらいとの意見がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 下水道事業を運営するうえで不可欠な事務であり、下水道の安定経営に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 下水道事業は、市で運営しているのが必要不可欠な事務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 収入・支出の整合性を確認するためには、幅広い知識が必要であり職員の異動が免れないため成果の向上は難しい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止することにより事業運営ができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 少ない人数で行っているため、削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 料金改定に組み込まれ適正な受益者負担になっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	特別会計から企業会計になり、単式簿記の現金主義会計から複式簿記の発生主義会計になって、初年度であったが決算等かなり苦慮した。 企業会計には、専門的な知識が必要なので、コンサルタント等委託し理解を深めていきたい。														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td rowspan="2">向上 維持 低下</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト														
		削減	維持	増加												
		○	X	X												
		(6) 事務事業優先度評価結果														
		成果優先度評価結果														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	